

REFINITIV. リフィニティブ

高校生向け
資産
形成
がわかる

担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい

投信 なるほど
リッパー

使い道に合わせて金融商品を選ぶ

長期の資産づくりは「証券」を活用

家計管理は、ただお金をため込んだり、やみくもに節約したりすることではありません。日々の生活に使うお金をやりくりしながら、同時に、将来必要なお金をお金を適切に使えるように準備することです。使う目的に合った準備ができるよう、金融商品の特徴を理解しておきましょう。

●預貯金

安全性が高く、取り扱い金融機関が元本を保証します。万が一、金融機関が破綻しても一定金額までは保護される制度も。ただ、今は金利が極めて低く、預けても利子はごくわずかしつかつきません。

いくつか種類があり、普通

預金は、手軽に口座からの出し入れが可能。原則、満期まで預ける定期預金は、使う時期が決まっているお金の預け先に向きます。金利が少しだけ高く、満期の期間は1カ月～10年などです。ゆうちょ銀行の定期預金は預けて6カ月が経過すれば払い戻しOK。最長10年で長く預けるほど利率が高くなる仕組みです。

日本円から米ドルやユーロなどの外貨に替えて預ける外貨預金は、円預金より金利が高め。ただし、為替相場によって受取額が変動するリスクがあること、金融機関が破綻した場合、保護の対象外なので要注意です。

■私が考える、こんな場面でこの商品

	普通預金 普通貯金	定期預金 定期貯金	定期預金 定期貯金	定額貯金	株式	10年 国債	投資 信託
日常の生活費	◎	◎	○	×	×	×	×
アルバイト代を受け取る	◎	×	×	×	×	×	×
仕送りをする、受け取る	◎	×	×	×	×	×	×
家賃やクレジット代金などの 口座振替(自動引き落とし)	◎	×	×	×	×	×	×
3年後の留学費用を貯める	○	◎	◎	×	○	○	○
10年ぐらい先の結婚資金	×	○	◎	○	◎	○	○
若い世代が老後の生活費を貯める	×	○	○	◎	○	○	◎

●証券

株式や債券、投資信託など、預貯金に比べてリスクが高い金融商品です。株式や投信は、買った時より売る時に値上がりしていれば利益が出るほか、収益に応じて配当金をもらえる場合も。利益に税金がかからないNISAと呼ばれる「少額投資非課税制度」の対象にもなります。債券は、満期までの間に得られる利子が投資家の主な収益です。

証券投資は、世界の経済情勢などによって価値が増減するので、常に情報収集が必要です。購入や売却のタイミングも、基本的に自分で判断しなければなりません。

●まとめ

大ざっぱに言えば、預貯金は日々使うお金の管理に向き、証券は投資による長期の資産づくりに向いています。主な取り扱い金融機関は、左下表のとおり。右上表で、お金の用途ごとに、選ぶとよい金融商品を紹介しました。

「『投資』はリスクがあって怖い」という人もいますが、お金を蓄える以外にメリットもたくさんあると思います。経済の動きに関心が高まり、生活する上で必要な知恵も備わるからです。投資で身につくものの見方や考え方は、仕事や生活でも役に立つはず。収入アップや資産を守ることもつながります。

■金融機関ごとの主な取扱商品

銀行、信用金庫	普通預金、定期預金、外貨預金、国債、投資信託
ゆうちょ銀行(郵便局)	通常貯金、定期貯金、定額貯金、国債、投資信託
農協(JAバンク)	普通貯金、定期貯金、国債、投資信託
証券会社	株式、債券、投資信託